

科目名	アジア文化論 A				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	春学期	開講学部等	文化学部	配当年次	2 年次
教員名	中田 美絵			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

中国の歴史、宗教、文化は、ユーラシア大陸の歴史と密接に関わりあいながら育まれてきました。そこで、本講義では、モンゴル時代までの中国の歴史について、ユーラシア大陸全体の諸民族の様々な動向や歴史的展開を踏まえながら、宗教や文化を中心に学んでいきます。また、中国から日本に伝わった諸文化についても適宜取り上げ、そこにみえるユーラシア的な側面を紹介していきます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ その他

視聴覚教材を用いることもあります。

授業内容・授業計画／Course description・plan

- 第 1 回 ガイダンス
- 第 2 回 ユーラシア大陸と中国 1
- 第 3 回 ユーラシア大陸と中国 2
- 第 4 回 シルクロードの歴史・文化 1
- 第 5 回 シルクロードの歴史・文化 2
- 第 6 回 シルクロードの歴史・文化 3
- 第 7 回 都市の歴史 1
- 第 8 回 都市の歴史 2
- 第 9 回 中国における歴史と宗教 1
- 第 10 回 中国における歴史と宗教 2
- 第 11 回 中国における歴史と宗教 3
- 第 12 回 ジェンダーの視点から見る唐王朝 1
- 第 13 回 ジェンダーの視点から見る唐王朝 2
- ★オンデマンド:ソグド人墓のレリーフ分析、これまでの課題のまとめ
- 第 14 回 試験及び振り返り

事前・事後学修／Preparation and assignments

- 第1回 事前学習：シラバスをよく読むこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第2回 事前学習：世界地図を確認しておくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第3回 事前学習：配布プリントを読んでおくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第4回 事前学習：シルクロードについて参考書などで確認しておくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第5回 事前学習：シルクロードについて参考書などで確認しておくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第6回 事前学習：配布プリントを読んでおくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第7回 事前学習：西安・北京について参考書などで確認しておくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第8回 事前学習：大都について参考書などで確認しておくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第9回 事前学習：空海・鑑真について参考書などで確認しておくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第10回 事前学習：ゾロアスター教について参考書などで確認しておくこと。
事後学習：授業内容の復習。
- 第11回 事前学習：マニ教について参考書などで確認しておくこと。

第12回 第13回 ★オンデマンド授業 第14回	事後学習：授業内容の復習。 事前学習：則天武后について参考書などで確認しておくこと。 事後学習：授業内容の復習。 事前学習：宦官について参考書などで確認しておくこと。 事後学習：授業内容の復習。 事前学習：ソグド人墓のレリーフを確認し、何が描かれているか考えておくこと。 事後学習：授業内容の復習。 事前学習：授業内容全体の復習をし、試験の準備をすること。 事後学習：授業内容全体の復習。 ※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。
授業の到達目標／Expected outcome	
前近代の中国の歴史を、民族・国境の枠を超えて多角的な視点から理解できるようになる。	
身につく資質・能力／Competencies to be attained	
専門知識・専門技能 【文化学部 国際文化学科】 ・人文学に関する知識 ・地域文化に関する知識 ・異文化間の課題を解決する能力	
履修上の注意／Special notes, cautions	
・前近代の世界史をおおまかにでも理解していることが望ましい。 ・授業中にレポートの作成、あるいは小テストを課することがあります（不定期）。	
評価方法／Evaluation	
平常点（授業中に不定期に課すレポートあるいは小テスト）：30% 学期末テスト（第14回に実施）：70% なお、私語など講義を妨げる行為は大幅な減点、あるいは「不可」とします。	
教 材／Text and materials	
Moodleに毎回レジュメを掲載するので、事前に各自でダウンロードなどをしてください。 また、参考書籍は授業中に適宜お知らせします。	
質問や相談の方法／Instructor contact	
メールなどでの質問の際には、学生証番号と名前、科目名を書いて下さい。詳細（メールアドレス等）は、初回にお知らせします。	